

令和6年度 日南市立吾田中学校 学校評価

<地域と学校が目標とする教育>
<基本方針>
・自ら学ぶ
・他者から学ぶ
・自然から学ぶ
<本年度重点目標>

『未来を生きぬく力と心』の育成
「学校は自分の成長を実感できる場所」
「学校は人と人が触れあうことの良さや、大切さを実感できる場所」
「学校はふるさとの良さや、ありがたさを実感できる場所」
Ⅰ 自己を肯定できる生徒の育成
Ⅱ 他者を肯定できる生徒の育成

4段階評価
A 期待以上
B ほぼ期待通り
C やや期待を下回る
D 改善を要する

評価項目	評価指標	具体的な取組（方策）	評価内容	自己評価		委員評価		○ 結果の考察・分析・改善策 及び ◎ 運営委員からの意見
				標別	統合	標別	統合	
自己肯定 自己を肯定できる生徒の育成	○ 「日南市中学生憲章」における5つの行動目標を意識させ、心身ともに調和のとれた中学生を育成する。 ○ 生徒指導及び生徒会のスローガンのもと、生徒に中学校生活の意義、価値、良さを伝える。	【生徒指導の充実】 ○ 生徒指導の機能を生かした教育活動 ○ 自己指導能力の育成 【生徒会活動の充実】 ○ 生徒総会の充実 ○ 生徒会役員選挙の改変 ○ 委員会活動の活性化 ○ 学校行事の充実	① 吾田中の生徒は、「日南市中学生憲章」を意識し、めざす生徒像「あたたかい心」「がんばる学習」「たくましい身体」に向かって学校生活を送っている。 ② 吾田中の生徒は、生徒指導「本気ONETEAM CREATION」及び生徒会のスローガン「Challenge The Top」のもと、生徒主体による学校行事（生徒総会・体育大会・文化発表会等）の運営を行い、生徒会活動を活発化させている。	B		A		○ ほとんどの生徒が「日南市中学生憲章」や学校の教育目標等を意識して学校生活を送っている。また、生徒の自治的な活動も充実してきており、今後とも継続していきたい。 ○ 学習指導においても、ICT機器を活用した学び合いが定着しており、「ひなたの学び」が定着しつつある。 ◎ 授業参観をとおして、生徒が集中して学習に臨んでいる姿勢が見られた。ICT機器の活用に関しても、生徒が使いこなしている様子が伝わってくる。個別最適・協働的な学びを意識した授業内容となっている。授業中の待ちの時間を上手に活用できるようになるとなお良い。 ◎ 学校行事や、日常における生徒のあいさつがとても爽やかであり、あたたかい心や頑張る気持ちが伝わってくる。 ◎ 初の5月開催で心配された体育大会であったが、まとまりがあり素晴らしい内容であった。 ◎ 部活動においても、県レベルでの活躍を知ることができた。勝つことだけではなく方向性・協働性が育まれている。
	○ 生徒の実態を把握し、わかる喜びを味わわせるような授業づくり（ひなたの学びの推進）に取り組む。	【学力向上・指導方法の工夫改善】 ○ 学力調査の分析、考察、対策 ○ ICTを活用した授業構築 ○ 相互参観・研究授業の実施 ○ 「ひなたの学び」を実現する個別最適・協働的な学びの推進	③ 吾田中の生徒は、日々の授業においてタブレット端末などのICT機器を活用して、自ら、また友人どうして学び合いを深める学習に取り組んでいる。	A	B	A	A	
	○ 進路の実現を目指し、主体的に学ぼうとする態度を育てる。	【キャリア教育の充実】 ○ 進路に関する学習や職場体験学習、体験的な活動の実施 ○ 日南ふるさと学の実施	④ 吾田中の生徒は、キャリア教育（進路学習・職業学習等）及び体験活動（日南ふるさと学・修学旅行・職場体験・福祉体験等）をとおして、進路の実現を目指そうとしている。	B		A		
	○ 生徒が自ら創り上げる体育大会や体力向上を目指した活動に取り組む。 ○ 生徒の健康を守る活動を企画し運営する。	【健康教育の充実】 ○ 体育的行事の充実と部活動の活性化 ○ 体力向上プランの活用 ○ 健康づくりへの意識の高揚（感染症対策、フッ化物洗口等）	⑤ 吾田中の生徒は、体育の授業や体育大会・部活動等をとおして、体力の向上に努めている。 ⑥ 吾田中の生徒は、健康づくり（健康観察・感染症対策・フッ化物洗口等）の取組をとおして、自らの健康管理の向上に努めている。	A		A		
他者肯定 他者を肯定できる生徒の育成	○ 他の生徒の発表や考えに耳を傾け、共感やそこから学び取ろうとする態度を育てる。 ○ 体育的行事や文化的行事では、生徒が友人と協力し、互いに賞賛し合える活動に取り組む。	【人権教育の充実】 ○ 「吾田中いじめ防止基本方針」をもとにした人権教育の実施 ○ 生徒会活動における取組 ○ 道徳・学級活動の充実 ○ 学校行事（体育大会や文化発表会等）の充実	⑦ 吾田中の生徒は、道徳・学級活動の授業だけではなく、学校行事（体育大会・文化発表会）等をとおして、豊かな人間関係づくりや思いやりの心を育んでいる。	B		A		○ 道徳・学級活動の時間及び学校行事をとおして、豊かな人間関係づくりや思いやりの心を育むことができた。しかし、SNSに関する人間関係のトラブルが少なからず発生したため、さらなる対策が必要である。 ○ 予告なしの避難訓練等を実施して、生徒の危機意識の高揚を図ることができた。地震や豪雨等の予期せぬ災害に対しては、保護者を含めた危機管理体制の整備が必要である。 ◎ 体育大会・文化発表会での生徒の自治的な運営の様子や一生懸命に取り組む姿に心を打たれた。また、生徒の聞く姿勢もとても素晴らしいと感じた。 ◎ 10月の線状降水帯発生による校区内の道路冠水についての対応は大変だったと思う。この教訓を生かして生徒の安全のために、保護者及び地域と共に行うことができることを話し合い、情報を共有することが大切であると考えている。
	○ いのちの教育（レインボープラン）を通して、自他のいのちを大切に守り育む態度を育成する。	【いのちの教育の充実】 ○ レインボープランの実施 ○ 「命の大切さを考える日」の設定、講話の実施 ○ 特別支援教育の充実	⑧ 吾田中の生徒は、「いのちの教育（レインボープラン）」等の学習をとおして、他者の意見や考えに共感し、自他のいのちを大切に守り育む態度を育んでいる。	B	B	B	B	
	○ 災害を想定した訓練では他者への思いやりの心を持ち、互いに支え合い、安全に避難できる活動に取り組む。	【危機管理】 ○ 交通安全教室の実施 ○ 計画的な避難訓練・安全点検や救命講習法の実施 ○ 自分の命は自分で守ることへの周知徹底	⑨ 吾田中の生徒は、災害を想定した避難訓練等をとおして、自分や友人のいのちを守る態度を育んでいる。	B		B		
	○ 生徒、保護者、地域と連携し、生徒指導及び生徒会のスローガンに向かって協調する活動に取り組む。	【地域との連携】 ○ 学校運営協議会の協議を踏まえた、PDCA評価の実施 ○ 学校だよりや学級通信、諸たより等の発行、ホームページの更新	⑩ 吾田中学校は、学校の様子や行事等の案内を、学校だよりや学級通信・ホームページ等で発信している。	B		B		

<校長所見>
本年度も、地域と学校が目標とする教育「未来を生き抜く力と心」の育成をめざして、『Ⅰ自己を肯定できる生徒の育成』『Ⅱ他者を肯定できる生徒の育成』という2つの重点目標掲げて学校経営に取り組んできた。Ⅰについては、生徒一人一人がしっかりと目標に向かって努力し、学力・体力の向上が成果として現れていることもあり、昨年度に比べよい評価を得ることができた。今後とも、この成果を維持向上できるように努めていきたい。Ⅱについては、概ね良い評価を得ることができたが、いのちの教育について、レインボープランの取組だけではなく、道徳・学級活動の時間及び学校行事をとおして、さらなる活動の充実が求められる。また、令和6年度は「震度6弱の地震発生」、「線状降水帯の発生による豪雨災害」が発生した。災害に対して、日々の避難訓練等では対応できない準備などについても、地域や保護者と共にしっかりと情報の共有をしていくなど対応の充実を図っていきたい。